

上智大学グリークラブ OB会ニュース

2010年度 第1号

2010年7月24日発行



5月30日（日）のファミリーパーティーに集まった皆さん

CONTENTS ～目次～

- ・ 会長挨拶
- ・ 2009年度OB会活動報告及び2010年度活動計画及び人事
- ・ 2009年度ファミリーパーティー報告
- ・ OB合唱団便り
- ・ 4大学OB合唱団合同演奏会参加者募集
- ・ 金祝を終えて
- ・ 現役からの活動報告
- ・ 創立60周年資料編纂委員会からの告知
- ・ Dr. Tomの演奏のための音楽の解釈の一助 その2～メンデルスゾーン *Beati mortui*～
- ・ 広報からのお知らせ

グリーアンケート2010 Coming soon !!

懐かしい先輩へ、最近の近況をお知らせ下さい！復活を遂げつつある現役へ激励の一言を。もっと活気あるOB会へあなたの声をお聞かせ下さい。近日中に、往復はがきにて。

OB ライフ（アンケート係：平成5年卒 亀田 俊孝）

会 長 挨拶

佐野 鑛治（昭和 39 年卒）

盛夏の候、今年は潤れ梅雨かと思っていましたら、九州南部地域では水災害が出る程で、雨の多い梅雨となってしまう、今般の参議院選挙の結果のように不安定な気分でした。

2010 年度の活動が始まりました。今期も変わらずよろしくお願い致します。

今期のスタートである ASF 当日は、金祝祝賀会の冒頭で大学・ソフィア会のお歴々がお入場の際「校歌」を、続いて今はなき恩師、友人を偲んでの黙祷の際「遥かな友に」そして高祖理事長の乾杯に合わせ「Trink Lied」の 3 曲を歌わせて頂きました。初めての企画で、1960 年卒金祝祝賀会実行委員会のご要請により実現しました。今後も続けば G L E E の良い活動の機会になると期待されます。また、ファミリーパーティーでは、新入部員 10 名（女子マネ 2 名含む）を加えた現役が参加して、確りした歌声を聞かせてくれました。来年には 30 名に・・・と期待が膨らみます。関連して、新入部員を歓迎し、現役グリークラブの顧問の長町教授にご挨拶すべく、先生との懇談会が去る 6 月 26 日（土曜日）に、関口氏（合唱団副代表）のご協力を得て、日比谷公園 松本楼で、OB・現役 25 名余りが参加して開催されました。現役の若々しい歌声と楽しい歓談の時をすごしました。特に、長町先生が大勢の入部を喜んで下さり、今後益々、活動を支援したいとおっしゃって下さっていたことを報告いたします。

今年度の役員人事では、新規企画の「グリークラブ 60 年誌」の編纂委員会（同委員長 中島祥一氏）の設置がありました。活動面では、新納名誉会長を始め、多くの OB 各位が熱心に練習に参加して下さい、現役定演の賛助、ミッション四大学とのイグナチオ大聖堂でのミサ曲演奏と、太田先生、篠崎団内指揮者の指導のもと、充実した合唱団活動が予定されており、OB 会活動の中核となっています。1 人でも多くの OB 諸兄が参加し、共に歌って下さることを是非お願いします。練習後の美味しいビールを共に楽しむためにも。

また、母校の創立 100 年記念企画（室長 池田宥三氏）は、ソフィア会との連携のもと、学校当局との調整が進んで、近々、実施企画が固まるはずですが、OB 会組織が在るのは、我々グリーだけ（女声 OG 合唱団は活動を続けていますが）で、他の団体から羨ましがられています。オールソフィアン・チャリティコンサートの実現に努力したと存じます。

～2009 年度活動報告ならびに 2010 年度活動計画・役員人事について～

チーフマネージャー 金子 澄人（平成 4 年卒）

先日 2010 年 5 月 30 日に開催いたしました OB 会総会にて、報告ならびにご承認いただきました掲題の件は、次ページの通りとなりますので、ご報告いたします。

1.2009年度活動報告

内容	時期
OB会総会	5月
ファミリーパーティー	5月
OB会ニュース発行	年4回
創部55周年記念演奏会支援	6月
OB合唱団結成	7月
第61回定期演奏会支援 (制服・団旗製作等)	12月
OB会忘年会 (現役定期演奏会当日)	12月

2.2010年度活動計画

内容	時期
OB会総会	5月
金祝祝賀会への参加	5月
ファミリーパーティー	5月
OB会ニュース発行	年4回
第62回定期演奏会支援	11月
OB会忘年会(現役定期演奏会当日)	11月
4大学合同演奏～一致祈禱集会への参加(聖ウナナ教会)	1月

3.2010年度役員人事(網掛は新任マネージャー)

	卒年	担当	卒年	担当
名誉会長	S22	新納	-	-
会長	S39	佐野	-	-
副会長	S44	中尾	S47	上田
チーフ	H4	金子	-	-
総務	H4	待井	H7	亀田
財務	H7	鈴木飛鳥	H9	下山
広報	H8	小倉	H7	中川
	H5	中谷 (HP主担当)		
監事	S37	加藤	S42	西
顧問	S35	田中	-	-
相談役	S39	池田	S39	川島
	S40	古賀	-	-
特務担当	S35	田中	S39	池田
	S40	泉	S53	堀(関西)

各委員会		卒年	担当
OB合唱団	代表	S40	泉
	副代表	S42	関口
	運営ディレクター	S47	上田
	音楽技術ディレクター	S44	中尾
	事務局長	S44	高橋
	団内指揮者	H5	篠崎
現役対策	委員長	S40	古賀
	担当(演奏会)	S44	上田
	担当(音楽)	H5	篠崎
	担当(情宣)	H5	中谷
OBライフ	委員長	S35	田中
	副委員長	S37	加藤
	担当(コンテンツ)	S40	荻野
	担当(アンケート)	H7	亀田
	担当(HP管理)	H5	中谷
	担当(コンテンツ・ソワイフ会)	H8	小倉
	担当(HP)	H4	待井
	担当(HP)	H7	中川
	名簿	S38	宮島
	室長	S39	池田
創立100周年	音連担当	H21	佐藤
	音連担当	H22	吉越
	委員長	S40	中島
グリー創部60周年 資料編纂	委員	S37	今井
	委員	S51	天河
	委員	S60	山本

2009年度OB会総会及びファミリーパーティーのご報告

待井 欣一(平成4年卒)

去る5月30日(日)のソフィアンズデーに、例年通り1-403教室にてOB会総会、その後ファミリーパーティーを開催いたしました。

毎年恒例のビンゴ大会、歌の披露に加え、パーティー前の金祝祝賀会での演奏、例年より大人数での現役コーナー、管弦楽団OB会の方々などの珍しい来客、そして終了後のグランドフィナーレ参加などあり若干慌ただしくもありましたが、例年よりも内容盛り沢山の楽しいひと時を過ごすことができました。

来年もソフィアンズデーにファミリーパーティーを開催する予定です。

多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

OB合唱団便り

OB合唱団副代表 関口 慶雄（昭和42年卒）

昨年7月25日に正式に当団がスタートして早くも1年が経過しようとしています。現在団員数は現役も含め60名を数えておりますが、夫々仕事或いは体調面の不調などで休団中の方もおり、普段の練習への参加は35名前後の出席となっております。この間、本年に入ってからからの練習では上智グリーとしては不慣れなミサ曲以外の宗教曲に取り組み、太田先生にご苦労をおかけしながら、又、篠崎氏の熱心な指導もあり、少しずつ自分たちのものにしてこられたように思います。

この合唱団は上智大学グリークラブOB会の下部組織として位置づけられ、趣旨としては「良き仲間が集い」「良き指導者の下で」「より質の高い合唱を目指して」合唱活動を行う場を恒常的に設けること、又、それにより上智大学グリークラブの活動を支援するという趣旨の下に設立されました。また、目的としては「合唱活動を継続的に実施することで、母校のキャンパス等で男声合唱を響かせ、合唱することの喜びと力を合わせることの大切さを体現し、母校内外におけるグリークラブの認知度を高めることを目指すとともに、本合唱団員及び「OB会」会員並びに上智大学グリークラブメンバー相互の親睦を図ることを目的とする」としています。グリークラブ前部長東海林さん・現部長の荒木さん他現役部員の努力で部員が倍増したことは大変に喜ばしい出来事でしたが、OB合唱団の設立趣旨・目的にのっとり活動してきた当団の支援活動も部員増強の一助になっているものと自負しております。

今後の活動としては本年11月28日の第62回定期演奏会（滝野川会館大ホール）にて「ふるさとの四季」を演奏いたします。その練習は今月10日の練習からスタート致します。また、来年1月22日にはデュオパの荘厳ミサ曲の内3曲（Kyrie・Gloria・Agnus Dei）を聖イグナチオ教会大聖堂にてキリスト教一致祈禱週間にあわせ関学・同志社・立教・上智4大学で演奏することになっており、この件に関しては中尾音楽ディレクターが本号で詳しくお知らせしています。また、この演奏会への参加者を別添要項にて募集致しますので是非多くのOB会員のご参加をお待ちいたします。また、当団の第1回定期演奏会を来年7月24日に杉並公会堂にて行います。内容については前回のOB会ニュースにOB合唱団便りに詳しく載っておりますが、「人間の歌（多田武彦作品）・トスティ歌曲集（北村協一編曲）」についてはこれからの練習となりますので、併せて多くのOB会員のご参加をお願いいたします。

4 大学 OB 合唱団合同演奏会参加者募集

OB合唱団 音楽技術D 中尾 照夫（昭和44年卒）

北村先生のご遺志を実現するため、関学・上智・同志社・立教OB男声合唱合同演奏会の合同マネージャー会が定期的にかかれております。来年1月の聖イグナチオ教会での演奏ならびに再来年1月に予定しておりますコンサートホールでの荘厳ミサ全曲演奏について、概要をお知らせいたします。

<聖イグナチオ教会大聖堂における演奏会>

日 時 2011年1月22日(土) 午後3時30分 開演
演奏会名称 北村協一メモリアル 関西学院・上智・同志社・立教 合同演奏会
—— 一致祈禱週間にちなんで
演奏曲目 デュオーパ「荘厳ミサ」Kyrie Gloria Agnus Dei 指揮：太田 務
4大学合同の愛唱歌数曲(予定) 指揮：各校指揮者
合同練習スケジュール

別掲記載の通り。4大学合同練習になりますと100名を超える人数になります。
練習場をさがしています。お心当たりのある方は、中尾、上田まで一報ください。
なお、4大学合同打ち上げパーティーも準備しています。

<コンサートホール演奏会>

日 時 2012年1月22日(日) マチネ
演奏会名称 北村協一メモリアルコンサート MISSION
演奏曲目 デュオーパ「荘厳ミサ」全曲 指揮：太田 務
その他未定
場 所 未定(すみだトリフォニーホール大ホール他)

関学・同志社・立教というわれわれより大変に永い歴史を有する3大学と合同演奏会を持つのはレベルアップをはかる絶好の機会です。北村先生のご遺志を実現するためにも出来るだけ多くのOB諸兄にご参加いただきたいと思っております。聖イグナチオ教会大聖堂で歌えるのもまたとない機会ですし100人を超える大合唱になります。参加申込書を添付してあります。お待ちしております。

なお、楽譜、練習用音源は用意してあります。(実費頒布)

四大学 OB 合唱団合同演奏会参加者募集

上智大学グリークラブOBの皆様には、OB会ニュースで既にご存知のことと思われませんが、再来年2012年1月に北村先生ご遺志を実現する四大学(関学・上智・同志社・立教)OB合唱団による合同演奏会『Kyoichi Kitamura Memorial Concert MISSION』で四大学合同によるデュオーパ作曲「荘厳ミサ」全曲演奏が決定されております。

この合同演奏会に先立ち、例年行われている「キリスト教一致祈禱週間」の一環として、来年2011年1月に聖イグナチオ教会大聖堂を会場として四大学合同演奏が実現する運びとなりました。

つきましてはOB合唱団に参加されていない方でこの演奏会に参加を希望される方を募集いたしますのでメモリアルで歌った方も歌っていない方も奮ってご参加下さい。練習用のパート別音源も用意しておりますのでご利用いただけます。

次ページの合同演奏会要綱をご覧の上、参加希望者はOB合唱団事務局までご連絡下さい。

上智大学グリークラブOB会
上智大学グリークラブOB合唱団

記

1. 演奏会日時 2011年1月22日(土) 15:30～
2. 会場 聖イグナチオ教会大聖堂
3. 曲目 デュオーパ作曲「荘厳ミサ」より
Kyrie、Gloria、Agnus Dei、その他、小曲を数曲
4. 指揮 太田 務先生
5. 楽譜 メモリアルコンサートで使用した楽譜(赤い表紙)をお持ちの方はそれをご使用下さい。お持ちでない方は四大学共通の楽譜を用意いたしました。(1部1000円)

7. 四大学合同練習日

11月 7日(日) 13:00～17:00
11月21日(日) 13:00～17:00
12月12日(日) 13:00～17:00
12月26日(日) 13:00～17:00 太田先生
1月 9日(日) 13:00～17:00
1月16日(日) 13:00～17:00 太田先生
太田先生以外の練習指揮は篠崎さん(H5年卒)

8. 練習場所 11/7、12/26、1/9は滝野川会館小ホール(北区)その他は未定
 9. 参加申込受付 上智大学グリークラブOB合唱団事務局 高橋直樹(S44年卒)
メールアドレス: ttn7aau254@mx7.ttcn.ne.jp 携帯電話: 090-7251-1271
※参加申込締切日は特に設けませんが、上記初回合同練習日を目途にお願い申し上げます。
- 以上

なお、これを機会に、2012年1月の合同演奏会『Kyoichi Kitamura Memorial Concert MISSION』及び上智大学グリークラブOB合唱団の恒常的な合唱活動へもご参加頂きたくお願い申し上げます。

金祝を終えて

田中 立夫(昭和35年卒)

好天に恵まれた去る5月30日、1960年卒金祝 祝賀会の冒頭、高祖理事長・石澤学長(グリーメン)和泉ソフィア会会長・お元気な恩師モール先生・前ソフィア会事務局 星島主事(グリーのよき理解者)をお迎えする際、すばらしいグリーの校歌演奏でお迎えできましたことは私のみならず当日参加した同期の方々にとっても感動の瞬間でありました。

実行委員会祝賀会担当の川野さん(新聞科)との綿密な打ち合わせと演出に寸分の狂いもなく応えてくださった現役、OB合唱団の皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。

後日実行委員会の面々のみならず多くの参加者よりお礼のメール、手紙でお褒めの言葉をいただきました。そして卒業50年たった今でもOBや現役諸君と交流がある君は本当に幸せ者だな一と言ってくれたのです。GLEEを誇らしく思いました。

今後の現役活躍のためそして毎年行われる金・銀・銅祝をうけるOBのためにもグリー現役、OB男声合唱による演奏の機会が続くよう願って止みません。

ここにドイツより参加してくれたGLEE OB 吉田慎吾君のメールを紹介します。

グリーOB、現役の皆様 田中立夫君

金祝の際には大層お世話になり、ありがとうございました。おかげで懐かしい友だちと、人によっては50年ぶりの再会ができました。ありがとう。吉野君らもずいぶんがんばったようですね。

メインストリートでの歌や、会場での校歌がまだ耳の奥で美しく響いています。居酒屋での楽しいひと時を帰りの飛行機の中でじっくりと思い出していました。時計の針をぐっと逆に回したような感じもありました。まことにすばらしい一日でした。グリークラブがやっとまた元に戻りつつあるという話しを、帰独の前日に中島君から聞いて頼もしく思っています。

OB会のバックアップもあったのでしょうか。遠くにいてはるかな友を思うだけで何もできず心苦しいばかりです。どうかこれからも合唱を楽しく続けてください。

これから本格的な夏に向かいますます暑くなると思いますが健康にご留意くださるよう。

吉田慎吾



金祝で演奏するOB諸兄と現役

フォトギャラリー



(上) ファミリーパーティーフィナーレで演奏するグリーOBと現役



(左上) 松本楼



(右上) 顧問の長町先生

(右) 松本楼にて
OBと現役



現役からの活動報告

上智大学グリークラブ部長

荒木 克也（情報理工3年）

OB会の皆様、こんにちは。夏も本番、暑さも加わって週3回ある現役練習も段々と大変になってきました。というのが普通の挨拶文ですが、現役グリーは毎回フレッシュに練習をしています。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回はまず初めに定期演奏会のお知らせを致します。

第62回定期演奏会

日時：2010年11月28日（日） 13:30 開場 14:00 開演予定

場所：滝野川会館 大ホール

第一ステージ	男声合唱による乙女マリアの歌
第二ステージ	男声合唱組曲「雪と花火」
第三ステージ	男声合唱による唱歌メドレー「ふるさとの四季」
第四ステージ	グリークラブ愛歌曲集

第三ステージはOB合唱団と合同でお届け致します。去年ですと夏前は新入生のための指導も兼ねた Our Songs 等の練習を、夏休み前頃から演奏曲の音取りをはじめ、合宿では全体をある程度形作り、以降はブラッシュアップする流れでした。しかし今年は定期演奏会の日程が11月ということや、質を上げたいということもあり、早めに練習を始めています。少し先のことはありますが、是非お越しく下さい。

【春学期のグリークラブ】

4月～7月を通していろいろな行事が目白押しでした。紀尾井音楽祭、ファミリーパーティー、顧問長町先生をお呼びしての食事会、部室清掃・移動、卒業写真撮影・・・etc

<Pick up!>

年に数回ある現役の演奏。今回はその一つである紀尾井音楽祭に焦点を当てたいと思います。今年は新入生が多く、練習も例年と比べ熱が入りました。そして紀尾井音楽祭では「かもめ」（中勘助の詩より）や顧問長町先生の希望による「ゲゲゲの鬼太郎」を演奏しました。新入生の練習も考えて合わせやすい曲、且つ簡単すぎない曲を選曲し、好評を博したものだと思っています。しかしながら紀尾井音楽祭は例年のごとくお客さんの人数が少なかったです。紀尾井音楽祭では、10程ある音楽団体が持ち時間30分で日々の成果を披露していきます。もちろんお客さんが来るのですが、どの団体も20～30人程でした。歌の質を上げることもより集客に専念・・・!? なんか変な話ですね。

【パート練習！】

現役グリーでは週2日の通常練習に加え、週1回の昼のパート練習を追加することにしました。パート練習は5月から始まり、定着化しつつあります。今現在テナー・ベースと分かれています。ゆくゆくは4パートに分かれてパート練習が出来たらなと思います。



上智大学正門そばにて現役の皆さん

パンフでも、写真でも、思い出でも

・・・グリー60年史の資料集めに、ご協力ください・・・

創部60周年記念資料編纂委員長 中島 祥一（昭和40年卒）

5月30日のOB会総会で、創部60周年記念資料を作ることとなり、今井正俱（37年）天河雅治（51年）、山本修司（60年）中島の4人が編纂委員に決まりました。

他校の例をみると、同志社グリーのように30年史（129ページ）50年史（255ページ）60年史（117ページ）80年史（325ページ）100年史（150ページ）と小まめに刊行している例や関西学院グリークラブ80年史（649ページ）早稲田大学グリークラブ100年史（646ページ）など、創部当時からの学校内外の新聞や写真、パンフレット、回想など、史資料をふんだんに散りばめた重厚な内容で圧倒されます。

上智の場合は、学校史自体が簡単な内容の25年史、50年史しかなく、全5巻の上智大学資料集も基本資料しか残されていないため、グリーが第1回の定演を開いた昭和28年前後から60回定演までの歩みを、奥行きと広がりある内容でまとめるのは難しい作業になりそうです。

編纂委としては、今井（学校、イグナチオ関係）中島（創部当時から定演20回まで）天河（21回から40回まで）山本（41回から60回まで）と一応、おおまかに担当を分け、すでに一部の聞き取りなど作業に取り掛かっていますが、目標の2013年11月刊行を実現するには、各年次のみなさまのご協力が欠かせません。

定演、演奏旅行、その他演奏会のパンフ類、楽譜、写真類、手紙、個人記録、合宿の思い出など、グリー・ライフに関わるものなら何でも結構です、どうぞ各委員にご一報ください。

編集の方向としては、60年史で完結するというより、むしろ、いま集められる資料、証言をきちんと残し、来るべき80年史、100年史に備える、その「橋渡し」の作業になればというところでしょう。（そのためには、この際、できるだけ多くの原資料をきちんと保管する場所の確保、体制整備も必要になります）。

作業進行に合わせ、各年次の補強委員の委嘱や必要に応じた座談会の開催なども検討しております。なにはともあれ、眠っているお手持ちの史資料とともに、貴重な記憶をご提供ください！

■連絡先

今井正俱	携帯080-5180-3271	tmmimai@ybb.ne.jp
中島祥一	090-7056-1197	y.nakajin@y6.dion.ne.jp
天河雅治	090-5558-3904	amakawa@mub.biglobe.ne.jp
山本修司	090-3317-7869	yama.shu@nifty.com

Dr. Tom の

演奏のための音楽の解釈の一助

その2 ～メンデルスゾーン *Beati mortui*～

今回はドイツロマン派のフェリックス・メンデルスゾーン（1809-1847）のモテット、*Beati mortui*へのアプローチです。この優しい響きに満ち溢れる小品について語る前に、少し古典派音楽とロマン派音楽の違いを考えてみましょう。

古典派音楽の特徴は均衡と調和に趣を置き、抑制と釣り合いを理想とし、構築性に対して保守的態度をとり、そしてその音楽的要素に対する取り扱いが客観的と言えます。典型的な例は古典派の交響曲でしょう。完成されたクラシック・シンフォニーは4つの楽章からなり、第1楽章はソナタ・アレグロ形式、第2楽章は緩徐楽章、第3楽章はメヌエット、そして最終楽章はソナタもしくはロンド形式と、ある意味判子で押したような作品が多いのです。

一方、熱狂的で抑制の無いテキスト、革新的で過激でさえある形式へのアプローチ、音楽的要素に対する取り扱いが主観的で極端な個人的感情の関与、そして表現の方法として新しい物を追い求める欲望等々が見られる作品が、ロマン派的なものと考えられます。「言いたい事が沢山ある」ロマン派の作曲家のシンフォニーは、古典派のものとは比べ時間が長く、表情が豊かで色彩に富んでいます。

それではメンデルスゾーンの *Beati mortui* を簡潔に解析し、ロマン派的解釈のための考察を、曲の流れに従ってしてみる事にしましょう。この曲は大きく3つのセクションに分けられます。①1～16小節：*Beati mortui in Domino morientes deinceps*（今から後、主にあつて死ぬ死人は幸いである）、②16～36小節：*Dicit enim spiritus, ut requiescant a laboribus suis et opera illorum sequuntur ipsos*（御霊も言う、「彼らはその労苦を解かれて休み、そのわざは彼らについてゆく」）、③は①のアレンジで、

ABA・の形式をとっています。

先ず①ですが、始めの4小節で如何にメンデルスゾーンがアクセントの付いている音節に注意を払っているかに気をつけて見て下さい。Beāti mórtui in Dómino moriéntesのアクセントの付いている音節は必ず小節の一拍目（楽譜は4拍子の表示がありますが、私はAlla breve即ち2拍子で振っていますので、確実にその小節に一つしかないダウンビート）に来て、更に比較的長めの音符があてがわれています。ハ長調の簡潔な和音進行（C→G→F→C→F→Dm→C→G）と縦のそろったホモフォニックなセッティングで、テキストの持つメッセージを的確に伝えようとしています。始めのダイナミクスのpは死者に対する思い遣りでしょうか。直後5～8小節でポリフォニックなセッティングが現れます。このような形は、まるで階段の様に迫って同じ旋律が歌い始めるので「ストレッタ（元々フーガの作品に現れる、複数の主題が折り重なって提示されるもの）」と言います。このような所では単語を聴かせる事より、声部が増えてゆき更にcresc.する事により、9小節以降に来るホモフォニック・セッティングに音楽を流しこんで行く効果をねらっています。Crescendoとdecrescendoはロマン派の作曲家にとっては作品を表情豊かにする「武器」の一つです。ここでは確りと内側から膨れ上がるような感情を表すcresc.にしてみてください。しかしSoloのbeatiにおけるダイナミクスのシフトは優しく撫でるようなものが良いでしょう。バリトンとセカンドのG#がこのセクションをイ短調で終わらせているところも興味深いものです。

この曲の始めもそうですが、②のセクションの始まりもまことに修辭的です。「レトリック（rhetoric）」と言いますが、起承転結をはっきりする作風は、西洋音楽ではバロック時代から引き継いだ伝統です。ここでテキストを見てみますと、Dicit enim spíritusでは、fによるテキストのプロジェクションと、はっきりしたアーティキュレーションの為に4拍子にしてその助けにするべきでしょう。ut requiescant a laboribus suisにおけるpへのダイナミクス・シフトはドラマテックにする事が肝要。ここは横流れの音楽ですので、もう一度alla breve（2拍子）に直すくらいの音楽のシフトをしなければなりません。ハ長調から始まり、中間部（24～29小節）は調性のシフトがあります。後半（30～36小節）は①の再現であるハ長調の属和音Gへの和音のシフトがバリトンを除く3パートによって三和音（短三和音Dm・減三和音Edim・長三和音D）が形作られます。34小節までCの単音上のバリトンは、このハーモニーに大きく影響し、色彩を濃く、そして和声のシフトを確固たるものにしてしています。Et opera illorum sequuntur ipsos（そのわざは彼らについてゆく）と言う箇所において、音の変わらないバリトンが、まるで生前の行い（わざ）が、飾られる事もなく後からついてくるようです。

最終部はAの再現部になりますが、ソロ・クワルテットと全体のアンサンブルの交互の歌い合いが、この曲の感情の豊かさを増しています。ホモフォニックに始まったこのセクションを、ソロのストレッタで感情を掻き立てます。曲始めのbeatiのストレッタの主題と異なり、ここのbeatiはソフトな抑揚のある主題に変えられています。その「幸いである」と言う優しい言葉が最後まで何度も繰り返される所が、メンデルスゾーンのメッセージではないでしょうか。

どんな作品でもそうだと思いますが、この曲の作曲においても何がしかの精神的動機がメンデルスゾーンにもあった事でしょう。この曲は「新グローヴ音楽事典」によれば、作品番号 115 の「2つの神聖な合唱曲」としてカタログされ、作曲年は 1833 年あたりとされています。その前年 1832 年 3 月に彼が敬愛していた友人のゲーテ (Johann Wolfgang von Goethe) が、5 月には師でありメンデルスゾーンの良き理解者でもあったツェルター (Carl Friedrich Zelter) が相次いで他界、彼は大いに悲しんだという事です。このモテット *Beati mortui* を書くにあたり、この二人の事を想いつつペンを動かしたのかも知れません。

Doctor of Musical Arts in Choral Conducting and Literature

太田 務

広報からのお知らせ

現役及びOB対象のメーリングリストを運営中です。メーリングリストに登録希望の方は、卒年・お名前・登録アドレスを明記の上、以下のアドレスにご返信ください。

上智大学グリークラブOB、現役部員対象のメーリングリスト

info@sophia-gee.com

※OB会では近い将来ニュース等、広報のペーパーレス化を考えております。会員の皆様にはその是非についてメーリングリスト、または田中立夫 (S. 35 卒) (tanaka@aoyoko.ch) までご意見をお寄せいただきたく存じます。よろしくお願い致します。

(編集) 広報 小倉 充朗 (平成8年卒)